

令和4年4月22日
教育部文化課
0438-23-5309

木更津市史デジタルアーカイブを公開します！

木更津市史編さんで調査した歴史資料をインターネット上のデジタルアーカイブで公開します。

内容は、千葉県指定有形文化財の「天正検地帳」などの画像と翻刻文、戦国時代の城跡である真里谷城跡、天神台城跡、要害城跡の陰陽図を無料で検索・閲覧することができます。

- 1 開始日時 令和4年5月2日（月）10時から
- 2 公開方法 「木更津市史デジタルアーカイブ」サイト
(URL) <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1220605100>
※市ホームページからもリンクできます。



- 3 内 容 千葉県有形指定文化財「天正検地帳」や新発見の検地帳などのデジタル画像と翻刻文。市内に残る戦国時代の城跡である真里谷城跡、天神台城跡、要害城跡の立体画像である陰陽図（陰陽図は、朝日航洋株式会社「立体画像装置」特許番号4379264号を用いて作成しています。）をデジタルアーカイブシステムADEACで公開します。
- また、公開に際しては、千葉県文化財保存事業補助金、2019年度公益財団法人朝日新聞文化財団・文化財保護助成事業、公益財団法人図書館振興財団2019年提案型助成事業の助成を受けて実施しています。

【問合せ先】

木更津市教育部文化課
文化芸術振興係 青柳・矢野
TEL:0438-23-5309
FAX:0438-25-3991

木更津市史デジタルアーカイブ

木更津市は、自然に寄り添い、学び、経済が循環する自立した共生社会をめざすため、オーガニックなまちづくりに取り組んでいます。

千葉県の中西部に位置する木更津市は、昭和17年（1942）11月に千葉県下6番目の市として誕生しました。西に東京湾を臨む歴史と文化にあふれるまちで、古くから港町として発展し、国重要文化財に指定される「千葉県金鈴塚古墳出土品」や、戦国時代に上総国を支配した武田氏の居城である真里谷城跡など、多くの文化財が残っています。

市域は東西に長く広がり、海と山に囲まれた自然豊かな土地柄です。東部には丘陵地、西部は平地の地形で東京湾に面し、市の東部から北部を流れる小堀川流域には田園地帯が広がっています。また、小堀川の河口付近には盤洲干潟と呼ばれる東京湾最大の干潟が残り、貴重な生物や野鳥の生息地となっています。

本アーカイブは、『木更津市史』編さん事業の取り組みの成果として、木更津市の歴史資料を手軽にご覧いただくためのツールです。

検地帳



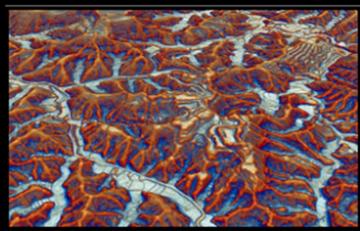
木更津市に唯一現存する「天正検地帳」（千葉県指定文化財）と、その「副本（承応2年）」（木更津市指定文化財）のほか、史料調査で新たに発見された天正検地帳の写本「下郡村水帳之写」などの資料をデジタル化したものです。

これらは、16世紀末から17世紀前期頃の検地の様子を把握するための貴重な資料です。

※千葉県指定文化財「天正検地帳」のデジタル化にあたり、千葉県文化財保存事業補助金、公益財団法人朝日新聞文化財団・文化財保護助成事業の助成を得て実施しています。

[検地帳 »](#)

木更津の城



市内に残る戦国時代の城跡のうち、真里谷城跡、天神台城跡、要害城跡の航空レーザー測量データをもとに、地形の凸凹を陰と陽に分けて立体感を表現する立体画像の陰陽図（朝日航洋株式会社「立体画像作成装置」特許第4379264号）を作成しました。

城跡の構造がよくわかるデジタル画像資料です。

[木更津の城 »](#)

本事業は以下の助成を得て実施しています。

- 2020年度、2021年度千葉県文化財保存事業補助金（千葉県指定文化財「天正検地帳」保存修理）
- 2019年度公益財団法人朝日新聞文化財団・文化財保護助成事業（千葉県指定文化財「天正検地帳」保存修理及びデジタル化公開）
- 公益財団法人図書館振興財団2019年度提案型助成事業（「木更津市史」編さん及びデジタルアーカイブ公開）